

自動車整備業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	13~14	納車する車のフロアマットを屈んでエアブローをしていた時に、当社社員が塗装作業中の車を移動させる為バックをした時に屈んで車の後ろで作業していた被災者に気付かずに衝突し、転倒し右膝部分を打撲した。別作業をしていた者が車を叩いて止めさせた。	61	1~9
4	13~14	自社店内で、お客様からお預かりしているオートバイのエンジンをかける際、キックペダルの跳ね返りによって足を強打し、足首全体（特に足の甲）が大きく腫れた。	48	1~9
9	13~14	駐車場にて、スペアタイヤ交換中、タイヤホイールナットが緩まず、力を加えた時、使用していた工具（レンチ）が一回転して、右手薬指にあたった、さほど痛みが無かった為、そのうち治るだろうと思い、放置していたら悪化した。	36	10~29
12	14~15	車両の荷台室内にて、保安基準の仕切りパイプを取り付け中、鉄パイプがはね返り、右手の平に当たり、反動がきつく右腕が後にもっていかれ、右肩の関節に激痛がはしった。病院でMRIを撮ったところ、右肩関節の筋肉（すじ）が切れていた。	70	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html